



一 次のア～エの言葉を国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましょう。

(完答で各十点 計二十点)

(一) ア ふうせん イ ふるさと ウ プール エ ふうりん

↓

↓

↓

(二) ア パック イ はつか ウ はつねつ エ バック

↓

↓

↓

二 次の文の、主語、述語を線部1～4の中からそれぞれえらびましょう。(各五点 計二十点)

(一) 今日、かおりちゃんも 六時に 起きた。

 主語
 述語

(二) なおきくんが たくさん べんとうを 食べた。

 主語
 述語

三 次の文の修飾語を1線部の番号の中からそれぞれ選びましょう。(各五点 計二十点)

(一) 黄色い チューリップが さいた。

 (一)
 (二)
 (三)
 (四)

(三) ゾウは 大きな 動物だ。

 (一)
 (二)
 (三)
 (四)

四 次の1線部言葉と反対の意味の言葉、似ている意味の言葉を書きましょう。(各十点 計四十点)

(一) とびらをあげる。



【反対の意味】

(二) つかさくんとまさとくんの身長は等しい。

||

【似ている意味】

(三) 逆上がりが成功する。



逆上がりが

【反対の意味】

(四) さおりちゃんが来ることを教える。

||

さおりちゃんが来ることを

【似ている意味】



一 次の文を読んで、答えましょう。

雲ひとつない青空の下、ぼくはむねを高鳴らせ、スタートの時を待っていた。今日はじきゆう走大会。四年生は一〇〇メートルを走ることになっている。ぼくは走るのがにが手で、練習ではいつもとちゅうで歩いてしまっていた。ぼくのじきゆう走大会の目ひようは、一度も歩かずに走りきることだ。

毎日いっしょうけんめい練習したんだからだいじようぶ、と自分に言い聞かせ、スタートラインに立った。スタートの合図で地面をいきおいよくけた。うでをリズムよくふり、前へ前へと足を動かした。よいスタートがきれて、ぼくはうれしくなった。

しかし、半分をすぎたところから苦しくなってきた。体に力が入り、うまくいきがすえない。こきゅうと体のリズムが合わず、足が重たくなってきた。くるしい。もうだめかな。

そう思った時、みんなの声が聞こえた。

「もう少し。がんばれ。ゴールできるよ。」

あきらめかけていた手と足に、力もどってきた。

「やったあ。さいごまで走りきれた。」

ぼくは大きな声でさけんでいた。

(一) スタートラインに立ったとき、ぼくはどんなことを考えていましたか。(三十点)

(二) ぼくはうれしくなった。とありますが、それはなぜですか。一つえらび、() に○をつけましょう。(二十点)

() 雲ひとつない、よい青空の下で走ることができたから。

() みんながおうえんしてくれたから。

() リズムよく走ることができ、ゴールまで走りきれそうだと思ったから。

(三) 半分をすぎたころ、ぼくの気持ちはどのように変わりましたか。(二十点)

(四) みんなの声で、ぼくががんばろうとする気持ちになったことが分かる文をさがし、書きぬきましょう。

(三十点)



一 次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。（各二十点 計六十）

ー写真にも、アップでとったものとルーズでとったものがあります。新聞を見ると、伝えたい内ように合わせて、どちらかの写真が使われている事が分かります。紙面の広さによつてはそれらを組み合わせることもあります。取材のときには、いろいろな角度やきよりから、多くの写真をとっています。そして、その中から目的にいちばんあうものを選んで使うようにしています。

2 同じ場面でも、アップとルーズのどちらで伝えるかによって伝わる内ようがかわってしまう場合があります。だからこそ、送り手は伝えたいことに合わせて、アップとルーズを選んだり、組み合わせたりする必要があります。みなさんも、クラスの友達や学校の人々に何か伝えたいと思うことがあるでしょう。そのときにはある部分进行細かく伝える「アップ」と、広いはんいの様子を伝える「ルーズ」があることを思い出ししょう。そうすることで、あなたの伝えたいことをより分かりやすく、受け手にとどけることができるはずずす。

出典『アップとルーズで伝える』中谷日出

(一)ーのだんらくにはどんなことが書かれていますか。次の中から正しいものを一つ選びましょう。

ア テレビでは、アップとルーズの写真が両方使われている。

イ 新聞で使われている写真は、いろいろな角度やきよりでとつてはいない。

ウ 新聞では目的に合わせて、写真を使い分けている。

エ 新聞に使われている写真は、紙面の広さに関係なくいいものを使っている。

(二)2のだんらくには「アップ」と「ルーズ」の伝え方の持ちようが書かれています。筆者はそれぞれをどのように述べていますか。八字で書きぬきましょう。

・アップ…								伝える
・ルーズ…								を伝える

二 新聞委員の小野さんと今村さんは、「時のきねん日」についてとく集した内ようを六月号の学校新聞に書こうと考え、次の【しりょう】を見つけました。これをよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。(各二十点 計四十点)

【しりょう】だんらくのはじめにある数字は、そのだんらくの番号をしめています。

「時のきねん日」はどんな日？

ー昔の人たちは、空での太陽や星の動き方、水やすなの落ち方、線香のもえ方などで時間を計っていました。日本ではじめて作られた時計は、中国からつたわった「漏刻」といって、水が次々に落ちていくことで時間を計る水時計であつたと言われています。

2 「日本書記」には、「天智天皇の十年四月二十五日(今の暦では六七一年六月十日)に漏刻で計った時間を、かねやたいこを鳴らして人々に知らせた」と書かれています。このことから、大正時代になってこの日が「時のきねん日」となりました。

3 「時のきねん日」は、時間を守って行動し、きそく正しい生活を心がけ、時間を大切にしようとするいしきを高めていくために定められたとされています。

4 「時のきねん日」は、国民の祝日にはせい定(※①)されていませんが、多くの人々によく知られるきねん日となっています。

5 現在、六月十日には、時間や時計にかんするもよし(※②)が行われているところもあります。

※①せい定…きそくなどを定めること

(問い) 小野さんは、「なぜ六月十日が『時のきねん日』なのか」、今村さんは、「なぜ『時のきねん日』をせっていいしたのか」についてまとめています。二人は【しりょう】のどのだんらくを中心に読めばよいですか。もっともふさわしいだんらくを【しりょう】の中からそれぞれ一つえらんで、その番号を書きましょう。

・小野さん…

・今村さん…

各 10 点



次の文を読んで、答えましょう。

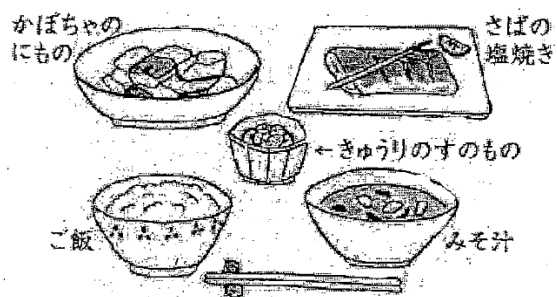
次は、島田さんが一汁三菜のよさについて書いた【説明の文章の一部】です。――部では、どのようなくふうを書いていきますか。そのくふうを説明したものとして最も適切なものを、あとの1～4までのの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。（二十点）

【説明せつめいの文章の一部】

昔から、日本の食事には「一汁三菜」というこんだてが取り入れられてきました。「一汁三菜」とは、主食のご飯に、汁物と三種類のおかずを組み合わせたものです。組み合わせることで、一度にいろいろな栄養素をとることができます。

このことについて、下のわが家の昨夜のこんだてを例にして説明します。主食のご飯からは主に炭水化物を、とうふとわかめが入ったみそ汁からは、たんぱく質と無機質をとることができます。さばの塩焼きからは主にたんぱく質を、かぼちやのものときゅうりのすのものからは、ビタミンをとることができます。

（文章が続く）



〈わが家の昨夜のこんだて〉

- 1 自分の考えを強調するために、複数の事（こと）がらに共通する点をまとめている。
- 2 読み手に自分のこととしてとらえてもらうために、疑問を投げかけている。
- 3 自分が伝えたいことをくわしくしめすために、具体的な事例を取り上げている。
- 4 読み手を説得（せつたく）するために、表やグラフを用いながら自分の考えを書いている。

二次の文しようを讀んで、あとの問いに答えましよう。

クラスともだちの友達に発表します。あなたが、一番きせつすきな季節はいつですか。

あなたが一番好きな季節と、その季節をえらんだ理由を次の〈注意〉をよく読んで、書きましょう。(各二十点)

注意
一 二だん落で、四行以上、五行以内で書くこと。

- 2 一だん落目には、あなたが一番好きな季節を書くこと。
- 3 ニだん落目には、あなたがその季節をえらんだ理由を書くこと。
- 4 原こう用紙の使い方に気を付けて書くこと。

[illegible]

5 行

3 行



ひろしさんの学校では、社会科の時間に近くに住んでいる田中さんをおよびして、昔のくらしについて話を聞きました。田中さんの話で、一番言いたかったことは、どんなことですか。もっともふさわしいものを一つえらんで番号を書きましょう。（二十点）

田中さんの話

わたしが子どものころは、まきを使ってご飯をたいたり、おふろをわかしたりしていました。その時、まきになかなか火がつかなくて、こまりました。せんたくする時は、たらいを使って手であらっていました。大きいものをあらったりしぼったりするのは、大変たいへんでした。

今は電気やガスが使えて、便利べんりになりましたね。

おやつも、それぞれの家で作ることが多かったのですよ。よく作ったのはおだんごやおまんじゅうです。おまんじゅうのあんこも自分の家であずきをとこと煮にて、一日がかりで作りました。今はおいしいものがいつでも買えて、本当に便利になったと思います。わたし

もいそがしい時は、助かっています。

- 1 せんたくするときは、たらいを使っていた。
- 2 昔は、何でも手作りで楽しかった。
- 3 今は、昔とくらべて便利になった。
- 4 おだんごやおまんじゅうをよく作っていた。

ともだち
クラスの友達にあなたが好きな遊びについてしようかします。

あなたが好きな遊びと、その遊びをえらんだ理由を次の〈注意〉をよく読んで、書きましょう。(各二十点)

注意

- 1 ニだん落で、四行以上、五行以内で書くこと。
- 2 一だん落目には、あなたがすきな遊びを書くこと。
- 3 ニだん落目には、あなたがその遊びをえらんだ理由を書くこと。
- 4 原こう用紙の使い方に気を付けて書くこと。

[illegible]

5 行

3 行